

実践英文法

フ オ ー カ ス

FOCUS

小池直己 + 佐藤誠司

共著



はじめに

「英文法」と一口に言っても、その中身はさまざまです。伝統的な英文法解説書は、「文型」「句と節」「名詞」などに始まり、「話法」や「特殊構文」で終わっています。これをすべて暗記するには途方もない労力を要することとは言うまでもなく、英語がきれいな、または苦手な皆さんにとっては、何から手をつけてよいのかわからないことでしょう。

しかし、potatoesとpianosの複数形の違いとか、祈願文の間接話法にはpray（祈る）を用いるとかいった重箱の隅をつつくような知識は、実際の英語の運用とはほとんど無関係です。そんなものを暗記するのに時間を費やすくらいなら、基本動詞を用いるイディオムを1つでも多く覚えたほうが役に立ちます。

本書では、英語のコミュニケーションに必要な基本知識を、問題を解きながら確認していきます。

本書の配列は重要と思われる項目の順によっています。設問中、【Aランク】は最も基本的な問いを、【Bランク】は標準的ないしやや高度な問いを示しています。

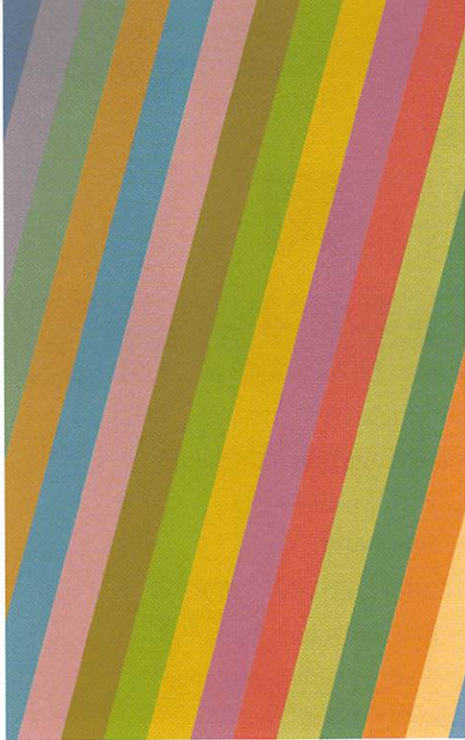
の印のついた文については、丸暗記するのがベターです。巻末に「暗記用例文一覧」として整理しておいたので、利用するとよいでしょう。とあるのは、類似表現と関連づけて暗記すべき重要事項です。

著者

目次

第1章 動詞	8
(1) graduateとmarry	8
(2) giveとprovide (二重目的語)	9
(3) wantとhope (動詞に続く要素Ⅰ)	10
(4) finishとdecide (動詞に続く要素Ⅱ)	11
(5) seat oneself (再帰動詞)	12
(6) lieとlay (活用・意味がまぎらわしい動詞)	12
(7) fail≠「失敗する」(意外な意味をもつ動詞)	13
第2章 不定詞	28
(1) 不定詞の3用法	28
(2) <for+人>と<of+人>	29
(3) tooとenough	29
(4) 知覚動詞と使役動詞	30
(5) seem to have + p.p.	31
第3章 分詞	44
(1) 分詞の限定用法	44
(2) 分詞の叙述用法	45
(3) 分詞構文	46
第4章 動名詞	62
(1) finish型の動詞	62
(2) that節と～ingの書き換え	62
(3) toに続く動名詞	63
第5章 代名詞	72
(1) Itの用法	72
(2) oneselfを含む慣用表現	73
(3) thisとthat	73
(4) oneとanother・other(s)	74
(5) someとany	75
(6) so・suchとeither・neither・none	76
(7) everyとall	76
(8) whatとhow	77
第6章 関係詞	94
(1) 関係代名詞の基礎	94
(2) whichとwhere	95
(3) <who>と<,who>	96
(4) who I thinkとwhom I think	96
(5) whatの用法	97
(6) 関係詞 as, than	98
(7) 複合関係詞	99
第7章 前置詞	110
(1) 誤りやすい前置詞	110
(2) 動詞と前置詞の結びつき	111

第8章 接続詞・時制	142
(1) whileとduring…142 (2) thatの用法…142 (3) 重要な接続詞…144	
(4) if・when節中の現在形…145 (5) 注意すべき時制…146	
第9章 形容詞	160
(1) 補語となる形容詞…160 (2) 形容詞と前置詞の結びつき…161	
(3) 用法に注意すべき形容詞…161 (4) necessary型・exciting型の形容詞…162	
(5) easy型の形容詞…164	
第10章 副詞	180
(1) too型の副詞…180 (2) 用法に注意すべき副詞…181	
第11章 比較	194
(1) 比較を含む書き換え…194 (2) 注意すべき比較の用法…194	
(3) 比較を含む慣用表現…195	
第12章 助動詞	210
(1) 助動詞の基本的な意味…210 (2) 助動詞+ have + p.p.…211	
第13章 受動態	222
(1) 受身文の基本形…222 (2) 注意すべき受身文…223	
第14章 仮定法	232
(1) Ifを用いる仮定法とその変形…232 (2) I wishなどとともを用いる仮定法…233	
第15章 話法	240
第16章 名詞・冠詞	248
(1) 単数・複数に注意すべき名詞…248 (2) 抽象名詞を用いた書き換え…250	
(3) 注意すべき冠詞の用法…251	
付録——暗記用例文一覧	270
英文索引	281
和文索引	297



フォーカス
実践英文法 FOCUS



Verb 動詞

1 graduate と marry (動詞と前置詞)

① graduate 型の動詞 (他動詞と誤りやすい自動詞)

- I **graduated from** Tokyo University.
- × I graduated Tokyo University.
(私は東京大学を卒業した)

② marry 型の動詞 (自動詞と誤りやすい他動詞)

- My sister **married** a foreigner. 暗記
- × My sister married with a foreigner.
(私の姉は外国人と結婚した)

解説

下の3文を前置詞の有無に着目して比較してみよう。

(ア) He speaks English. (彼は英語を話す) < speak = 他動詞 >

(イ) He talked with Mary. (彼はメアリと話した) < talk = 自動詞 >

(ウ) He goes to high school. (彼は高校に通っている) < go = 自動詞 >

他の動詞についても調べてみると、一応次のような対比が見られる。

(ア) 「～を○○する」 = 他動詞 + ～

(イ) 「～と○○する」 = 自動詞 + with ～

(ウ) 「～に○○する」 = 自動詞 + to ～

しかし、この一般論に当てはまらない動詞が実際にはかなりある。たとえば、

(ア) の反例: 「～を卒業する」 = graduate + from ～ < graduate = 自動詞 >

(イ) の反例: 「～と結婚する」 = marry ～ < marry = 他動詞 >

(ウ) の反例: 「～に出席する」 = attend ～ < attend = 他動詞 >

このように、日本語からの類推で前置詞の有無を判断するのは危険である。

一つずつ正確に覚えておこう。

3 want と hope (動詞に続く要素—1)

- I want you to go with me.
- × I want that you will go with me.
(君に私といっしょに行ってもらいたい)
- I hope that he will attend the party.
- × I hope him to attend the party.
(彼にパーティーに出席してもらいたい)

解説

主な動詞について、その後に置くことのできる要素をまとめてみよう。
(特に×印の形がとれないことに注意)

動詞 \ 続く要素	+ to do	+人+ to do	+ that 節	+人+ that 節
want	○	○	×	×
hope	○	×	○	×
tell	×	○ (命じる)	×	○ (言う)
say	×	×	○	×
ask	○	○	○	×
demand	○	×	○	×
promise	○	○	○	○
think	× (考える)	×※	○	×
expect	○	○	○	×

※ 「think + 人 + to be + 補語」は可能。

* demand 型の動詞については p.23・p.233 を参照。

4 finish と decide (動詞に続く要素—II)

① finish 型の動詞 (V + ing)

- (a) ○ Have you **finished writing** your composition?
 × Have you finished to write your composition?
 (作文は書き終えましたか)

解説

この型の動詞は、目的語として to 不定詞をとることができず、動名詞(～ing)をとる。finish・enjoy・mindなどがこの型に入る。(p.21 参照)

② decide 型の動詞 (V + to 不定詞)

- (b) ○ He **decided to go** to France.
 × He decided going to France. (彼はフランスへ行く決心をした)

解説

この型の動詞は、目的語として動名詞(～ing)をとることができず、to 不定詞をとる。hope・promiseなどこの型の動詞は多数ある。

③ remember 型の動詞 (V + ing / V + to 不定詞)

- (c) I **remember posting** the letter yesterday. 暗記
 (私はその手紙を昨日出したことを覚えている)
 (c') **Remember to post** the letter tomorrow.
 (その手紙を忘れずに明日出さない)

解説

この型の動詞は、動名詞をとる場合とto 不定詞をとる場合とで意味が異なる。たとえば remember + ing は「～したこと [=過去の行為] を覚えている」の意味であり、remember + to 不定詞 は「～すること [=未来の行為] を覚えておく」の意味である。

- cf. { I **stopped smoking**. (私はたばこをやめた)
 { I **stopped to smoke**. (私は立ち止まって [手を休めて] 一服した)

5 seat oneself (再帰動詞)

- He **seated himself** on the chair. 暗記
- × He seated on the chair.
(彼はいすに座った)

解説

seat は「～を座らせる」という意味をもつ他動詞であり、seat oneself の形で「自分自身を座らせる」→「座る」の意味になる。このように、V + oneself の形で自動詞の意味を表す動詞を**再帰動詞**と呼ぶ。

- (注1) ・ He devoted himself to his study. (彼は研究に専心した) <動作>
 ・ He was devoted to his study. (彼は研究に専心していた) <状態>

(注2) 次の文はいずれも正しい。

- ・ He overworked himself and got sick.
 - ・ He overworked and got sick.
(彼は働きすぎて病気になった)
- overeat (食べすぎる)・oversleep (寝すごす)なども同様である。

6 lie と lay (活用・意味がまぎらわしい動詞)

- She **lay** on the sofa. (彼女はソファーに横になった)
- × She laid on the sofa.

解説

① 自動詞・他動詞を誤りやすいもの

- | | | | | | | | | |
|---|-------|---|--------|---|--------|---|--------|------------------|
| { | lie | 自 | (横になる) | — | lay | — | lain | <現在分詞 = lying > |
| { | lay | 他 | (横にする) | — | laid | — | laid | <現在分詞 = laying > |
| { | rise | 自 | (上がる) | — | rose | — | risen | |
| { | raise | 他 | (上げる) | — | raised | — | raised | |

② 活用がまぎらわしいもの

{ wind (巻く / うねる) — wound — wound
 wound (傷つける) — wounded — wounded

(注) 発音は、上段が [waɪnd] [waʊnd] [waʊnd]。下段は [wu:nd] [wú:ndid] [wú:ndid]

{ fly (飛ぶ) — flew — flown
 flow (流れる) — flowed — flowed

7 fail キ「失敗する」(意外な意味をもつ動詞)

Words failed me. (私は言葉が出なかった)

解説

fail は他動詞として「～の役に立たない」の意味に用いる。

〈例〉 Her English failed her. (彼女の英語は通じなかった)

このように、最も一般的な意味のほかに、見落としやすい特別な意味を持つ語に注意。

同様に、日本語の感覚で使うと誤りになる動詞もある。

急所 「電話を借りる」は borrow ではない。

- May I **use** your telephone? < borrow は誤り >
(電話をお借りできますか)
- Will you **tell** me the way to the station? < teach は誤り >
(駅へ行く道を教えてもらえますか)
- You had better **take** this medicine. < 水薬なら drink も可 >
(この薬を飲んだ方がよい)
- I **rent** the room at 200 dollars a month. < borrow は誤り >
(私はその部屋を月200ドルで借りている)

- 1 次の各文の（ ）内に必要があれば適当な前置詞を入れなさい。
不要なら×を記入しなさい。


【A ランク】

- ① My sister married () a lawyer.
- ② My sister got married () a lawyer.
- ③ I will discuss () the problem with him.
- ④ The teacher entered () the classroom.
- ⑤ I graduated () college three years ago.
- ⑥ He leaves () Tokyo for Osaka tomorrow.
- ⑦ We reached () the hotel in the evening.
- ⑧ I hope () a good crop this year.
- ⑨ Please explain () me the meaning of this sentence.
- ⑩ I'll suggest () him that he should give up smoking.
- ⑪ Bees provide us () honey.
- ⑫ Bees provide honey () us.
- ⑬ Will you help me () my homework?

- ① 「姉は弁護士と結婚した」 **marry** ～＝～と結婚する
- ② 「姉は弁護士と結婚した」 **get married to** ～＝～と結婚する
cf. My sister was married to a lawyer. ***married** は形容詞
(姉は弁護士と結婚していた／結婚した)
- ③ 「私は彼とその問題について議論するつもりだ」 **discuss** ～＝～を議論する
- ④ 「先生は教室に入った」 **enter** ～＝～に入る
- ⑤ 「私は3年前大学を卒業した」 **graduate from** ～＝～を卒業する
- ⑥ 「彼は明日大阪へ向けて東京を発つ」 **leave** ～＝～を発つ
cf. He starts from Tokyo for Osaka tomorrow.
- ⑦ 「我々は夕方ホテルに着いた」 **reach** ～＝～に着く
cf. We $\left\{ \begin{array}{l} \text{arrived at} \\ \text{got to} \end{array} \right\}$ the hotel in the evening.
- ⑧ 「今年は豊作になってほしいと願っている」 < **hope**・**wish** + **for** + 名詞 >
cf. I wish for world peace.
- ⑨ 「私にこの文の意味を説明してください」 < **explain** + **to** + 人 + 物 >
* < explain + 人 + 物 > の二重目的語をとる形はない。 < explain + 物 + to + 人 > は可能。
この形から、 < to + 人 > が前方へ移動すると左の文ができる。
- ⑩ 「私は彼に禁煙を勧めようと思う」 < **suggest**・**propose** + **to** + 人 >
- ⑪ 「みつばちは我々にはちみつを与えてくれる」 < **provide** + 人 + **with** + 物 >
- ⑫ 「みつばちは我々にはちみつを与えてくれる」 < **provide** + 物 + **for** + 人 >
- ⑬ 「宿題を手伝ってくれませんか」 < **help** + 人 + **with** + 物 >

<答> ① × ② to ③ × ④ × ⑤ from ⑥ × ⑦ × ⑧ for ⑨ to
⑩ to ⑪ with ⑫ for ⑬ with

【Bランク】

- ⑭ You resemble () my brother.
- ⑮ You have to apologize () him for your fault.
- ⑯ We approached () the town.
- ⑰ He mentioned () the accident to us.
- ⑱ He went on () his work.
- ⑲ We should obey () the law.
- ⑳ I envy you () your good health.
- ㉑ She survived () her husband by five years.
- ㉒ We all attended () the party.
- ㉓ Computers save us () a lot of time and trouble.
- ㉔ They blamed him () his failure. 

- ⑭ 「君は僕の弟に似ている」 resemble ～～に似ている
- ⑮ 「君は自分の過失を彼にわびなければならない」
apologize to + 人 + for + 事柄 = ～に～をわびる
- ⑯ 「我々はその町に近づいた」 approach ～～に近づく
- ⑰ 「彼はその事故について我々に話した」 mention ～～について述べる
- ⑱ 「彼は仕事を続けた」 go on + with + 名詞 = ～を続ける
cf. He went on working.
- ⑲ 「我々は法律に従うべきだ」 obey ～～に従う
- ⑳ 「君の健康がうらやましい」 envy + 人 + 物 = ～の～をうらやむ
- ㉑ 「彼女は夫より5年長生きした」 survive + 人 = ～より長生きする
- ㉒ 「我々はみなそのパーティーに出席した」 attend ～～に出席する
- ㉓ 「コンピューターは我々から多くの時間と手間を省いてくれる」 save + 人 + 物 = ～から～を省く
- ㉔ 「彼らは彼の失敗を責めた」

急所 blame 型の動詞（賞罰の動詞）

人の行為などに対して「ほめる」「しかる」などの意味を持つ動詞は、たとえば [blame + 人 + for + 行為] の形をとる。

- They praised him for his honesty.
(彼らは彼の正直さをほめた)
 - I punished him for cheating.
(私は彼がカンニングしたのを罰した)
 - I scolded them for being idle.
(私は彼らがなまけていたのでしかった)
 - She thanked me for coming.
(彼女は私が来たことに感謝した)
- 他に excuse・forgive（許す）などもこの型に入る。

<答> ⑭ × ⑮ to ⑯ × ⑰ × ⑱ with ⑲ × ⑳ × ㉑ × ㉒ ×
㉓ × ㉔ for

2 次の各組の中から、文法的にみて正しい文を1つずつ選びなさい。

【Aランク】

1. (a) He said that his mother was ill.
(b) He told that his mother was ill.
(c) He spoke that his mother was ill.
(d) He talked that his mother was ill.
2. (a) I want that you will go with me.
(b) I hope that you will go with me.
(c) I ask you that you will go with me.
(d) I make that you will go with me.
3. (a) I want you to go with me.
(b) I hope you to go with me.
(c) I think you to go with me.
(d) I make you to go with me.
4. (a) What made him to change his mind ?
(b) What let him to change his mind?
(c) What caused him to change his mind ?
(d) What had him to change his mind?
5. (a) I saw a boy to cross the street.
(b) I heard a baby to cry.
(c) I made him to quit drinking.
(d) I got him to quit drinking.

1. ①は < tell + 人 + that ~ > の形をとる。たとえば He told me that ~ なら正しい。
 ②は speak loudly (大声で話す)・speak English (英語を話す) などの形でしか用いない。
 ③ talk はふつう「話し合う」という意味の自動詞として用いる。
2. ①は I want you to go with me. が正しい。
 ②は「頼む」の意味なら ask you to go ~ の形になる。「尋ねる」の意味なら、たとえば ask you if ~ のようにする。
 ③は使役動詞として make を使うなら make you go ~ とする。
3. ①は I hope that you will go with me. が正しい。
 ②は I think that you will go with me. が正しい。
 ③は to が不要。
4. 「何が彼の心を変えさせたのか」
 ① ② ③ の to は不要。④ の cause + 目的語 + to 不定詞 (~ が ~ する原因となる) の形は正しい。
5. ① ② ③ の to は不要。
 ④ は「私は彼に酒をやめさせた」の意味で、使役の get は get + 目的語 + to 不定詞 (~ に ~ させる) の形で用いる。

急所 使役動詞 (~ に ~ させる)

- ① make [let・have] + O + 原形
 ② get [cause] + O + to do

* force (むりやり ~ させる)・allow (許す) など②の形をとる動詞は多い。

<答> 1. ① 2. ① 3. ① 4. ④ 5. ④

6. (a) Would you mind to open the window ?
(b) I have decided to move to the country.
(c) I have finished to read the book.
(d) Avoid to cross the street here.
7. (a) I remember to see that man few days ago.
(b) I remember calling on you tomorrow.
(c) I shall never forget to see her at the party last night.
(d) I'm sorry I forgot to post the letter yesterday.
8. (a) As long as we live, our hearts never stop to beat.
(b) I could not help to ask her the reason.
(c) I don't want to be talked about.
(d) My shoes want to mend.

6. ① ② ③ は to 不定詞を～ing に変える必要がある。

急所 finish 型の動詞 (～ing をとる)

finish ・ enjoy ・ mind ・ avoid ・ give up
(終える) (楽しむ) (気にする) (避ける) (あきらめる)

7. ① 「私はあの男に2, 3日前会ったことを覚えている」で to see → seeing。

② は「私は明日君をたずねることを覚えている [忘れずにたずねる]」で calling → to call。

③ ④ の forget も remember と同様で, ③ は「会ったことを忘れない」だから to see → seeing。④ に注意。「行すべき [=未来の] 行為をし忘れた」ときは, forgot + to 不定詞である。④ でもし to post → posting とすると, 「私はきのう手紙をポストに入れた [過去の行為] ことを忘れていてすみません」というナンセンスな文になる。

8. ① は「生きている限り, 我々の心臓は鼓動することを決してやめない」で to beat → beating。stop + to 不定詞は「～するために立ち止まる」。

② は cannot help ～ing (～せざるを得ない) だから to ask → asking。この形の help は avoid の意味で, 「～することを避けられない」が直訳。help [= avoid] の後には～ing がくる。

③ は「私は自分について話される [うわさ話をされる] ことを望まない」

④ は to mend → mending が正しい。

急所 want to do と want ～ing

・ I want to repair this watch. (私はこの時計を修理したい。)

・ This watch wants repairing. (この時計は修理する必要がある。)

= This watch needs repairing. **暗記**

= This watch needs to be repaired.

* This watch wants to be repaired. は誤り。「この時計は修理されたがっている」になってしまう。

* 米語ではふつう want よりも need を使う。

【Bランク】

9. ① I demanded him to pay the money.
② I advised him to pay the money.
③ I insisted him to pay the money.
④ I suggested him to pay the money.
10. ① I succeeded to solve the problem.
② He never fails to keep his promise.
③ How did you become to like her ?
④ She allowed to enter the room.
11. ① I said him that I was busy.
② I asked him that he was busy.
③ I thought him that he would attend the meeting.
④ I promised him that I would call on him.
12. ① He seated on the chair.
② He absented from the party.
③ He was absent from the party.
④ He presented at the party.

9. ① ③ ④ は「動詞 + that 節」の形に変える必要がある。

急所 demand 型の動詞 (要求・提案などを表す)

S + $\left\{ \begin{array}{l} \text{demand (要求する)} \\ \text{suggest (提案する)} \\ \text{insist (強く言い張る)} \\ \text{advise (忠告する)} \end{array} \right\} + \text{that S (should) + 原形}$

*従属節中の動詞が原形になることに注意。< p.233 参照 >

<例> I demanded that he pay the money. **暗記**

[時制の一致を受けない。3単現のsもつかない]

*上の4つの動詞のうち、V + 目的語 + to 不定詞の形がとれるのは advise のみ。

10. ① は I succeeded in solving ~ . が正しい。

② の fail は, fail in ~ ing (～に失敗する) のほか, fail + to 不定詞 (～できない) の形もある。never fail to ~ (必ず～する) は必須。

③ become + to 不定詞の形はない。「～するようになる」は come + to 不定詞または learn + to 不定詞で表す。

④ の allow は, allow + 人 + to do (～が～するのを許す) の形で使う。

11. ① は said を told に変える必要がある。say は間接話法には用いない。

② は that を if に変えれば「忙しいですか、と私は彼にたずねた。」となり、正しい。

③ は him がよけいである。

④ は I promised him to call on him. でもよい。

12. ① ② ④ は動詞の後に himself が必要。たとえば ② の absent は「～を欠席させる」という他動詞で, absent oneself の形で「欠席する」になる。

③ の absent は形容詞。④ は present oneself (出席する) である。

<答> 9. ② 10. ② 11. ④ 12. ③

3 次の各文の () 内から正しい語を選びなさい。

【Aランク】

- ① Prices have (raised / risen) recently.
② My salary was (raised / risen) a little.
- ① He (lay / laid) on the bench.
② He (lay / laid) his hand on my shoulder.
③ I feel like (lying / laying) on the bed. 暗記
④ I have (laid / lain) in bed with a headache today.
- ① The road (winds / wounds) up the hill.
② He (wound / wounded) up his watch.
③ He was badly (wound / wounded) in the war.

【Bランク】

- ① We (flied / flew) from Tokyo to London.
② Lots of water has (flowed / flown) over the dam.
- A new hospital was (found / founded) in the town.
- Brazil (won / defeated) England at soccer.
- He was (died / killed) in the accident.
- May I (borrow / use) the bathroom?
- Many foreigners have (immigrated / emigrated) into Japan.

1. ① 「物価は最近上がっている」 ② 「私の給料は少し上がった」
③ では「上げられた (be raised)」という受動態になる。
2. ① 「彼はベンチに横になった」
② 「彼は私の肩に手を置いた」
③ 「ベッドに横になりたい気分だ」
④ 「今日は頭痛でずっと寝ていた」
3. ① 「道はうねうねと山腹を上っている」
② 「彼は時計のねじを巻いた」
③ 「彼はその戦争で重傷を負った」

4. ① 「我々は東京からロンドンへ飛んだ」
② 「大量の水がダムからあふれ出した」
5. 「その町に新しい病院が設立された」
* found (設立する) — founded — founded
6. 「ブラジルがサッカーでイングランドに勝った」
* 「～を負かす」は defeat [beat]。win の後には a game [race・prize] などがくる。
7. 「彼はその事故で死んだ」
* 人災 (事故・戦争など) で死ぬときは **be killed** を用いることが多い。die は自動詞だから受動態にできない。
8. 「トイレを借りてもいいですか」
* borrow だとトイレを持って行ってしまうことになる。
9. 「多くの外国人が日本へ移住してきた」
* immigrate [外から中へ] ⇔ emigrate [中から外へ]。import (輸入する) と export (輸出する) も同様である。

<答> 1. ① risen ② raised 2. ① lay ② laid ③ lying ④ lain
3. ① winds ② wound ③ wounded 4. ① flew ② flowed
5. founded 6. defeated 7. killed 8. use 9. immigrated

4 次の各グループの文の () 内に下から適当な語を選んで入れなさい。

【Aランク】

1. Her new dress () her very well.
2. I can't () your smoking.
3. I hope to () a peaceful life.
4. How () he did such a thing?
5. We can't () your demands.
6. Please () me to your mother. 暗記
7. "When is it convenient for you?" "Any time will ()."
8. My tongue () me.

(a) come	(b) becomes	(c) stand	(d) do
(e) remember	(f) failed	(g) lead	(h) meet

【Bランク】

9. Honesty doesn't ().
10. This good weather will () for a few days.
11. Please () me the knife on the table.
12. To () it clearly, their plan was a failure.
13. Anger () them to violence.
14. This player is short, as pitchers ().
15. He () at the sight of a snake.
16. What () is the quality of our life.

(i) put	(j) go	(k) drove	(l) started
(m) reach	(n) pay	(o) last	(p) counts

1. 「彼女の新しいドレスはよく似合っている」 **become** = ～に似合う
2. 「私は君がたばこをすうのをがまんできない」 **stand** = 耐える
3. 「私は平和な生活を送りたい」
lead [live] a ~ life = ～な生活を送る
4. 「どうして彼はそんなことをしたのか」 **How come ~ ?** = なぜ
5. 「我々は君たちの要求に応じられない」 **meet** = (要求などに) 応じる
6. 「お母さんによろしく」
remember me to ~ = say hello to ~ = ～によろしく
7. 「都合がいいのはいつですか」 — 「いつでもけっこうです」
do = 間に合う
8. 「私は口がきけなかった」 **fail** = ～の役に立たない

9. 「正直は割に合わない」 **pay** = 割に合う
10. 「この好天は2, 3日続くだろう」 **last** = 続く
11. 「テーブルの上のナイフを取ってください」 **reach** = 手渡す
12. 「はっきり言えば、彼らの計画は失敗だった」 **put** = 述べる
13. 「怒りのあまり彼らは乱暴した」 **drive** = 駆り立てる
14. 「この選手はピッチャーとしては背が低い」 **as ~ go** = ～としては
15. 「彼はへびを見てとび上がった」 **start** = 驚いてとび上がる
16. 「大切なのは我々の生活の質だ」 **count** = 重要である (matter)

<答> 1. (b) 2. (c) 3. (g) 4. (a) 5. (h) 6. (e) 7. (d) 8. (f) 9. (n) 10. (o)
11. (m) 12. (i) 13. (k) 14. (j) 15. (l) 16. (p)